

国語



(1) 国語の大切さ

なぜ、国語の学習をするのか。

国語は、相手の言いたいことや伝えたいことを正確に理解し、そして自分の伝えたいことを正確に伝えるために学習します。漢字を練習するのも、ことわざを覚えるのも、文法を使うのも、伝えたいことを正確に理解し、正確に伝えるためにとても大切なものなのです。

国語は主に、「話す」「聞く」「書く」「読む」という分野に分かれています。人は、「聞く」「読む」ということで知識や情報を得ることができます。また、他の人の考えを聞いたり読んだりすることにより、それをヒントにしてまた自分の考えを創り出していくこともできます。さらに、様々な言葉の意味や文の組み立てを理解すると、自分の気持ちや考えを「話し」たり「書い」たりするときに役立ちます。この言語感覚が充実すると、自分のものの見方・考え方の育成に役立ち、人と人とのコミュニケーションの成立や展開を円滑にしていくことにつながります。

国語の学習は、学習してもすぐに成果があらわれないこともあります。国語の学習はマラソンと同じで毎日少しずつ続けることが大切です。国語は全ての教科の土台です。国語をしっかりと身に付けることで、より豊かに生きていくことができます。

(2) 国語の学習方法

授業では・・・一度読んで、読めない言葉や意味の分からない言葉に線を引いて辞書で調べます。授業中は手を挙げてたくさん発表しましょう。あなたが発表すれば、その一人の考えに、反対したり賛成したりと、その考えがつながっていき、学習が広がったり、深まったりします。授業の終わりには、めあてに合わせて、その時間に分かったことなど、「振り返り」を書きましょう。

家庭学習では・・・

※漢字ドリルを使って丁寧に書く。

毎日丁寧に書くことによって正確に、着実に漢字が覚えられます。

※毎日音読をする。

文章を正確に読むことを繰り返すことによって、すらすらと漢字が読め、文章の内容を読み取る力が付いていきます。

※読書に親しむ。

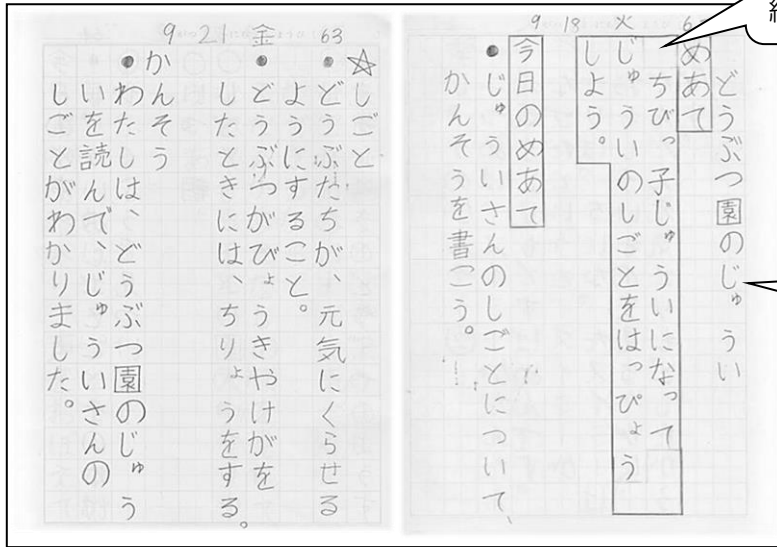
色々なジャンルの本を読むことによって語彙数が増え、自分とは違う人の見方・考え方を疑似体験できるよさがあります。

※1週間に1回日記を書く。

自然に文章力がアップします。また、以前の日記を読み返すことによって、客観的に自分を振り返ることができます。

(3) ノートの使い方

<低学年>



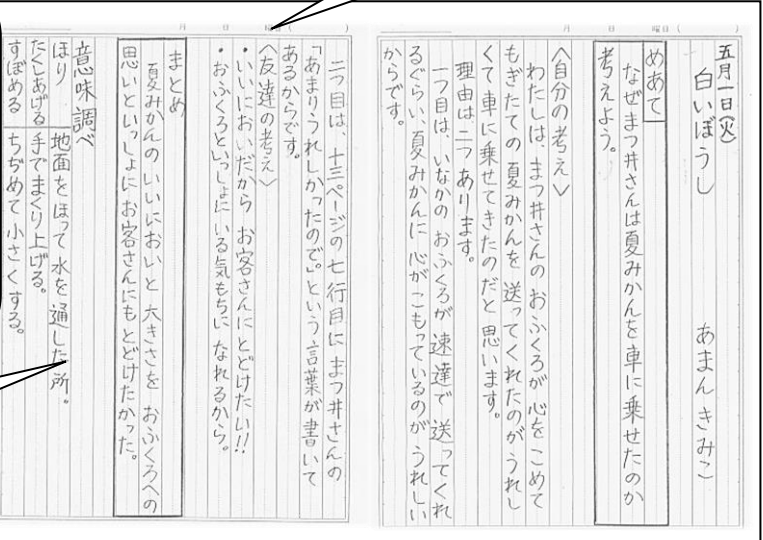
文の初めは1マス下げ、文の終わりには句点(。)を書きます。

マスを使って文字を正しく書くことを意識します。

友達の発表で「なるほど」と思ったことは青で付け足します。

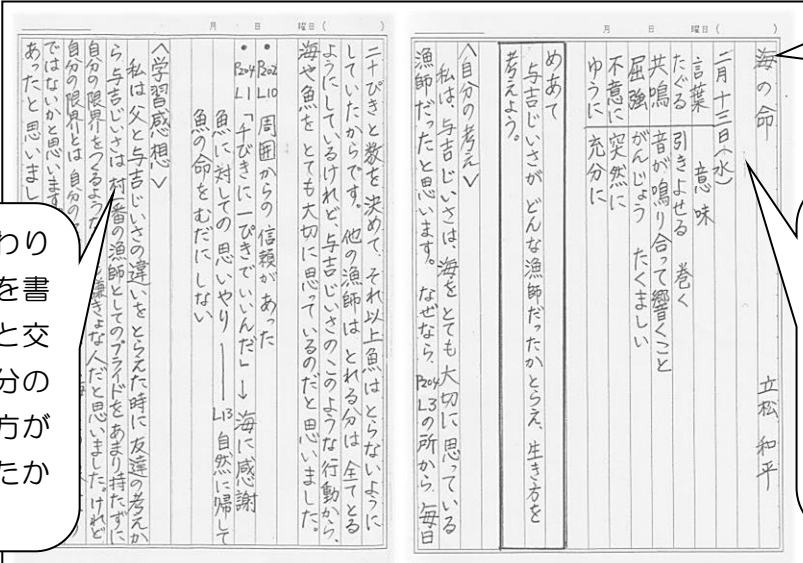
<中学年>

- ★どの学年にも共通の約束
- 日付・曜日を書きます。
- 「何を学ぶのか」を明確にするためめあてを書きます。
- めあては定規を使って赤で囲みます。
- 気付いたことをメモし、見方・考え方の跡が残るようにします。
- 習った漢字は必ず使います。



3年生以上は、分からない言葉は辞書で意味調べをします。

<高学年>



題名と作者を書きます。

学習の終わりに振り返りを書いて、友達と交流をして自分の見方・考え方がどう変わったかを書きます。

行のノートでも、文字の中心をそろえて丁寧に見やすく書きます。まとまりごとに、一行あけて見やすくします。